

2026年3月期
決算説明資料

株式会社ハードオフコーポレーション

東証プライム 2674

1

2026年3月期 決算概要

2

2027年3月期 通期の見通し

3

中期経営計画

4

サステナビリティへの取り組み

2026年3月期 決算概要（連結P／L）

売上高・各利益は過去最高を更新

(百万円)	2025/3期		2026/3期		
	実績	実績	前期比	予想 (2025/5発表)	通期予想 達成率
売上高	33,531	39,276	+17.1%	36,000	109.1%
売上総利益	22,996	26,790	+16.5%	—	—
売上総利益率	68.6%	68.2%	▲0.4%p	—	—
販管費	19,778	23,402	+18.3%	—	—
営業利益	3,218	3,387	+5.3%	3,550	95.4%
営業利益率	9.6%	8.6%	▲1.0%p	—	—
営業外収益	215	172	▲20.2%	—	—
営業外費用	31	69	+124.5%	—	—
経常利益	3,403	3,489	+2.5%	3,660	95.4%
経常利益率	10.1%	8.9%	▲1.2%p	—	—
特別利益	0	176	—	—	—
特別損失	170	143	▲15.7%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,314	2,519	+8.9%	2,450	102.8%
純利益率	6.9%	6.4%	▲0.5%p	—	—

決算のポイント（連結）

売上高

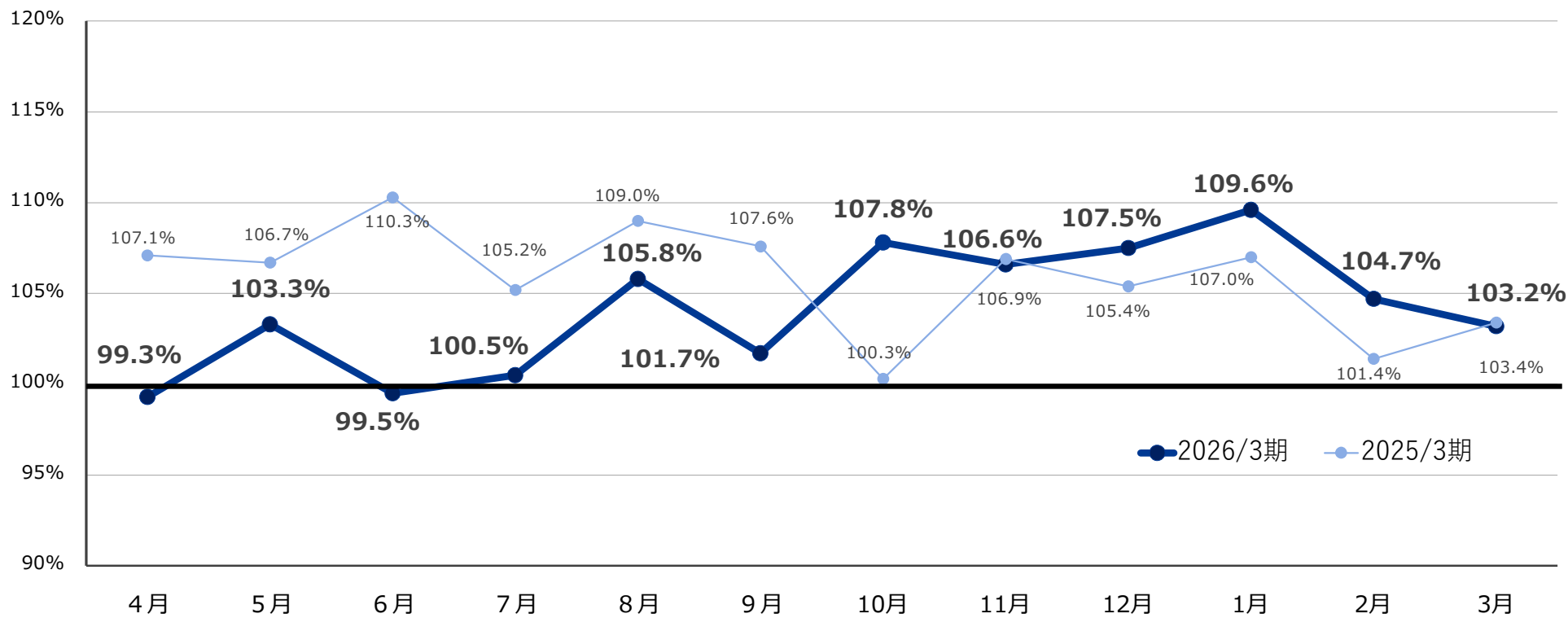
- 国内既存店売上高は4.3%増と堅調に推移。
- 前期にオープンした直営店24店舗、当期にオープンした直営店30店舗、第3四半期から連結対象となった(株)エコノス69店舗の寄与により、全社売上高17.1%増。
30期連続増収、過去最高を更新。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

- 期中オープンの新店30店舗の開業費用発生、人件費や減価償却費の増加等に加え、(株)エコノスへのTOB（株式公開買付）関連費用83百万円の特異要因の影響により、販管費は18.3%増。
- 増収効果により営業利益5.3%増、経常利益2.5%増、(株)エコノス連結開始に伴う段階取得に係る差益176百万円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益8.9%増。
何れも4期連続で過去最高を更新。

既存店売上高 前年同月比推移（連結）

既存店売上高は **4.3% 増**



第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
100.7%	102.7%	107.3%	106.0%	104.3%

リユース店舗数の増減

直営30店舗、FC27店舗を出店。直営 4店舗、FC 3店舗を閉店。
 (株)エコノスの53店舗を直営からFCに移管、16店舗追加。純増 66店舗。

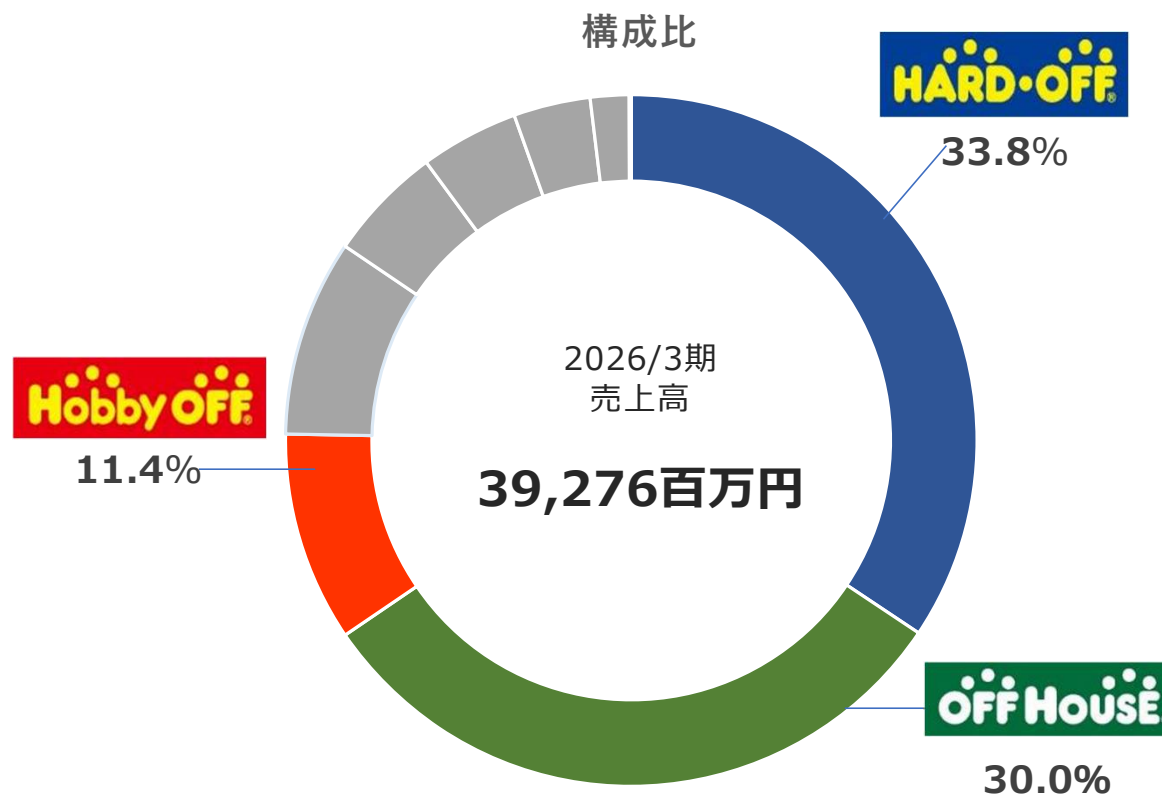
運営形態	ハード オフ	オフ ハウス	モード オフ	ガレージ オフ	ホビー オフ	リカー オフ	ブック オフ	海外	2026年3月末 合計
直営店	193	149	13	11	98	4	65	12	545
FC店	244	184	2	5	85	1	-	12	533
合計	437	333	15	16	183	5	65	24	1,078
	+22	+6	△2	+1	+17	±0	+17	+5	+66

- ・ 子会社が運営する店舗は直営店に含めております。
- ・ (株)エコノス子会社化により
 10月にハードオフ17店舗、オフハウス17店舗、ガレージオフ1店舗、ホビーオフ18店舗の合計53店舗をFC加盟店から直営店に移管、ブックオフ16店舗を追加しております。

売上高構成（連結）

ハードオフ・オフハウスを柱にリユース事業の多角化を実現

事業区分	売上高 (百万円)	構成比	前期比
ハードオフ	13,292	33.8%	+15.4%
オフハウス	11,786	30.0%	+13.1%
ホビーオフ	4,472	11.4%	+36.1%
モードオフ	1,272	3.2%	+4.3%
ガレージオフ	641	1.6%	+5.3%
ブックオフ	3,698	9.4%	+19.9%
海外	2,101	5.4%	+35.8%
FC事業	1,932	4.9%	+6.4%
その他	79	0.2%	+185.9%
合計	39,276	100.0%	+17.1%



・リカーオフは、オフハウス事業に含めて表示しております

・FC事業は、ハードオフ・オフハウス・モードオフ・ガレージオフ・ホビーオフ・リカーオフのフランチャイズ事業です

販売費及び一般管理費の内訳（連結）

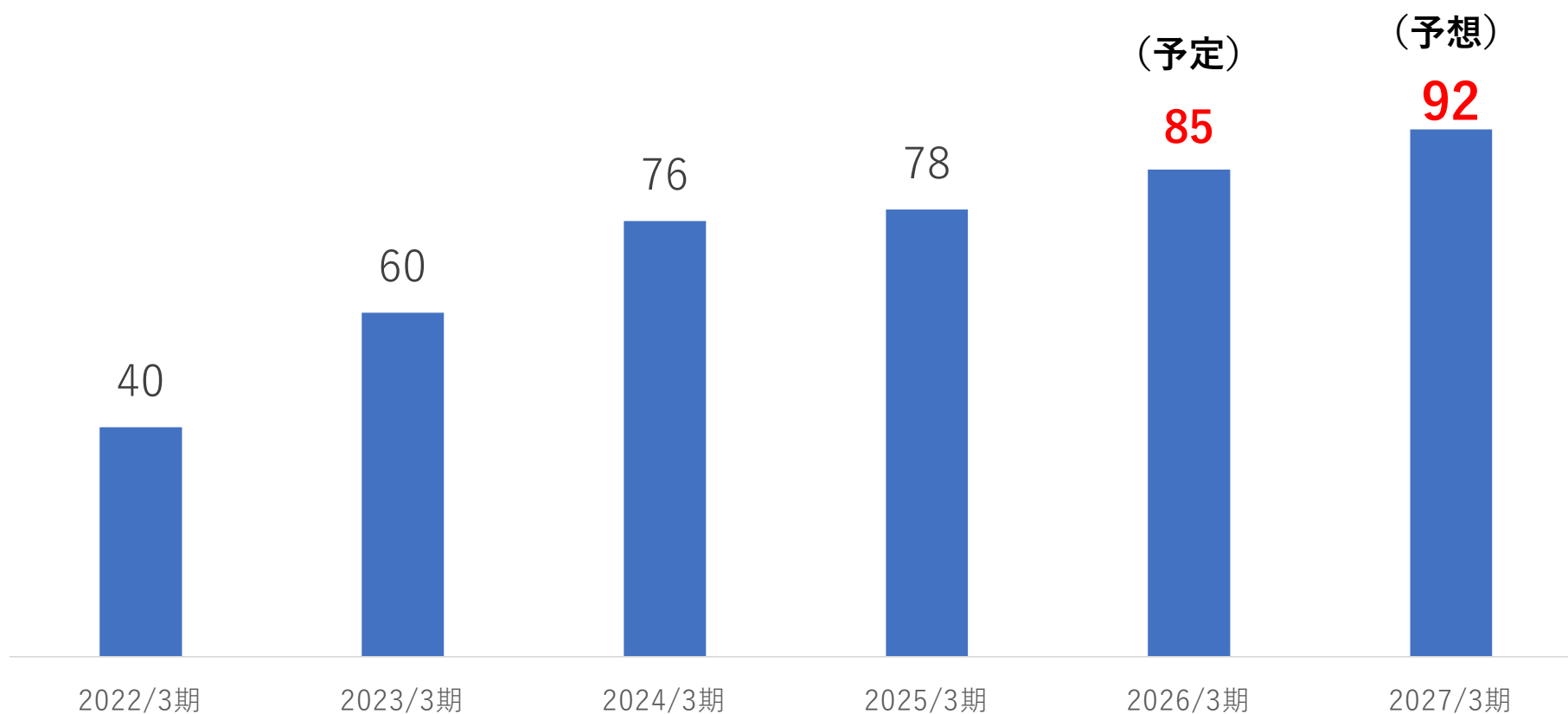
販管費は**18.3%増**。

(百万円)	2025/3期		2026/3期		前期比
	実績	販管費 構成比	実績	販管費 構成比	
人件費	10,861	54.9%	12,939	55.3%	+ 19.1%
広告宣伝費	319	1.6%	341	1.5%	+ 6.8%
水道光熱費	734	3.7%	801	3.4%	+ 9.1%
減価償却費	866	4.4%	1,115	4.8%	+ 28.8%
地代家賃	3,871	19.6%	4,271	18.3%	+ 10.3%
その他	3,125	15.8%	3,934	16.8%	+ 25.9%
合計	19,778	100.0%	23,402	100.0%	+ 18.3%

株主還元

DOE（連結純資産配当率）6%を目安に
安定的かつ持続的な配当を実施。

（単位：円）



- 1 2026年3月期 決算概要
- 2 2027年3月期 通期の見通し
- 3 中期経営計画
- 4 サステナビリティへの取り組み

2027年3月期 通期の見通し 連結P / L

(百万円)	2026/3期	2027/3期
	実績	通期予想
売上高	39,276	45,700 (+16.4%)
営業利益	3,387	4,050 (+19.6%)
経常利益	3,489	4,100 (+17.5%)
経常利益率	8.9%	9.0% (+0.1%p)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,519	3,300 (+31.0%)
当期純利益率	6.4%	7.2% (+0.8%p)

() 内は前期比を表しております。

2027年3月期 通期の見通し ポイント

売上高

45,700百万円  前期比+16.4%

- ・ 既存店売上高は前期比約4%増想定
- ・ 全社売上高は16.4%増、31期連続増収、過去最高更新を見込む

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益


営業利益

4,050百万円  +19.6%

経常利益

4,100百万円  +17.5%

親会社株主に帰属する
当期純利益

3,300百万円  +31.0%

- ・ 増収効果により、営業利益は19.6%増、経常利益は17.5%増。
- ・ 投資有価証券売却益1,160百万円の特別利益計上により親会社株主に帰属する当期純利益は31.0%増。
- ・ 各利益は何れも5期連続の過去最高更新を見込む。

2027年3月期通期の見通し チェーン売上高

国内チェーン売上高 774億円 ⇒ **845億円**
 国内外チェーン売上高* 805億円 ⇒ **883億円**

*チェーン
 =直営+FCの数値

単位:百万円

	2026/3期	2027/3期見込み	
	売上高	売上高	前期比
ハードオフ	31,383	34,400	+9.6%
オフハウス	30,158	32,000	+6.1%
モードオフ	1,413	1,430	+1.2%
ガレージオフ	911	1,000	+9.7%
ホビーオフ	9,908	11,300	+14.0%
ブックオフ	3,698	4,370	+18.2%
国内合計	77,473	84,500	+9.1%
国内・海外合計	80,503	88,300	+9.7%

(株)エコノスを子会社化

2025年10月2日 当社FC加盟法人の(株)エコノスを公開買付けにより子会社化

子会社の概要

- (1) 商号 : (株)エコノス
- (2) 代表者 : 長谷川 勝也
- (3) 設立年月日 : 1964年3月
- (4) 所在地 : 北海道札幌市
- (5) 事業内容 : 北海道でリユースショップの運営
- (6) 資本金 : 335,903千円

子会社化に伴い同社運営のハードオフ17店舗、オフハウス17店舗、ガレージオフ1店舗、ホビーオフ18店舗をFC加盟店から直営店に移管、ブックオフ16店舗を直営店舗に追加。



ハードオフ・オフハウス・ブックオフ札幌中の島店



ホビーオフイオン札幌元町店

2027年3月期 通期の見通し 店舗数

直営36店舗・FC21店舗純増、合計57店舗純増を見込む

	ハード オフ	オフ ハウス	モード オフ	ガレージ オフ	ホビー オフ	リカー オフ	ブック オフ	海外	2027年 3月末 合計
直営店	210 (+17)	152 (+3)	14 (+1)	12 (+1)	109 (+11)	3 (△1)	66 (+1)	15 (+3)	581 (+36)
FC店	253 (+9)	186 (+2)	2 (±0)	5 (±0)	95 (+10)	1 (±0)	-	12 (±0)	554 (+21)
合計	463 (+26)	338 (+5)	16 (+1)	17 (+1)	204 (+21)	4 (△1)	66 (+1)	27 (+3)	1,135 (+57)

・子会社が運営する店舗は直営店に含めております。

2027年3月期 通期の見通し 経営効率

主要経営指標	2026/3期 (連結)	2027/3期 (連結)	前年差
	実績	見込み	
売上高経常利益率	8.9%	9.0%	+0.1%
ROIC (投下資本収益率)	11.4%	10.8%	▲0.6%
ROA (総資産経常利益率)	12.2%	12.6%	+0.4%
ROE (自己資本当期純利益率)	13.1%	15.5%	+2.4%
EPS (1株当たり当期純利益)	181円19銭	237円19銭	+56円00銭
BPS (1株当たり純資産)	1,453円07銭	1,605円25銭	+152円18銭

- 1 2026年3月期 決算概要
- 2 2027年3月期 通期の見通し
- 3 中期経営計画
- 4 サステナビリティへの取り組み

長期ビジョン

理念経営に磨きをかけ、

誰にも真似できない唯一無二の存在になる。

強いリアル店舗を中心とした

“Re”NK CHANNEL を作り上げ、

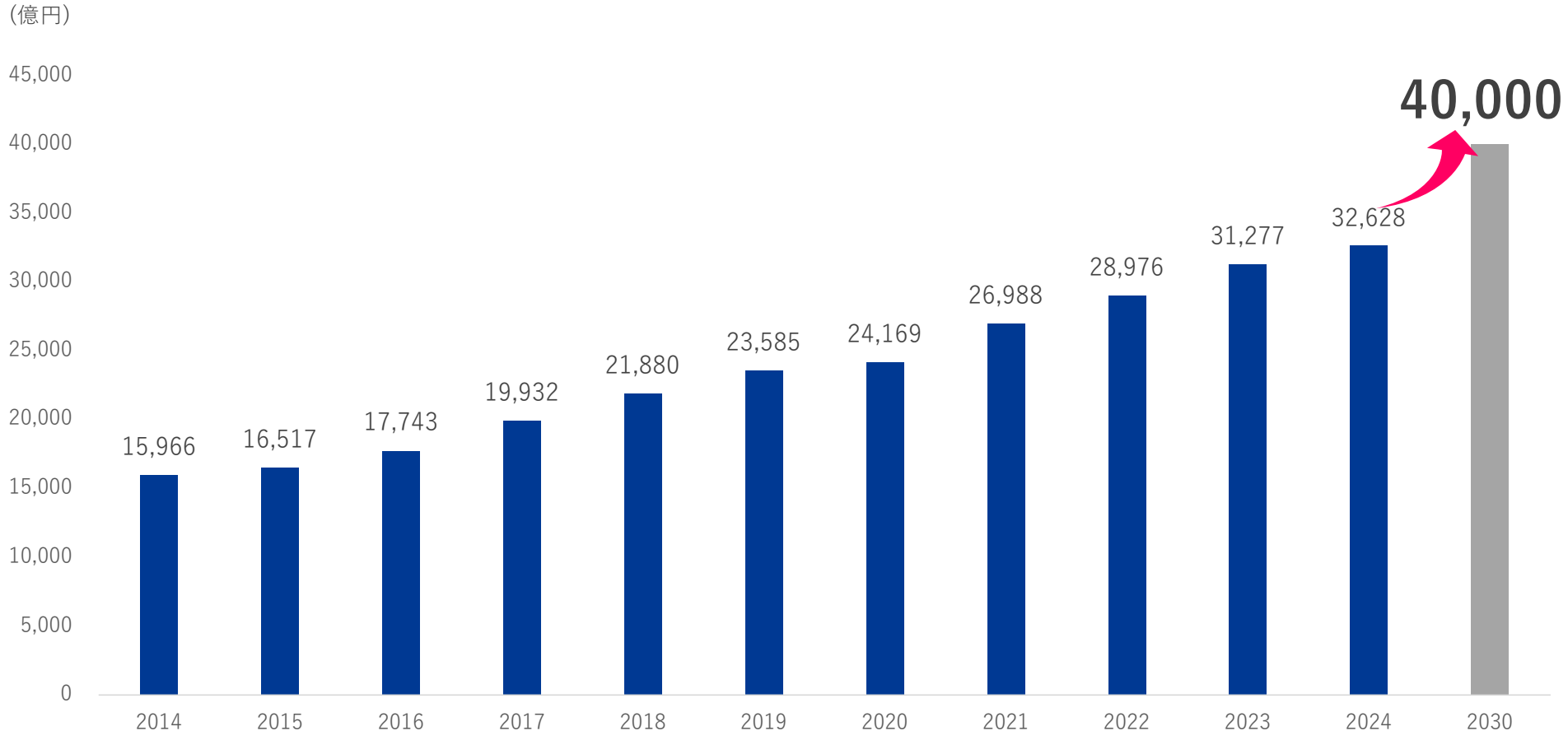
日本国内でも、海外でも、

圧倒的なリユースのリーディングカンパニー

として循環型社会の構築に貢献する。

リユース市場規模の推移と予測

市場は15年連続で拡大、市場規模は約3.3兆円。2030年には4.0兆円の予測。

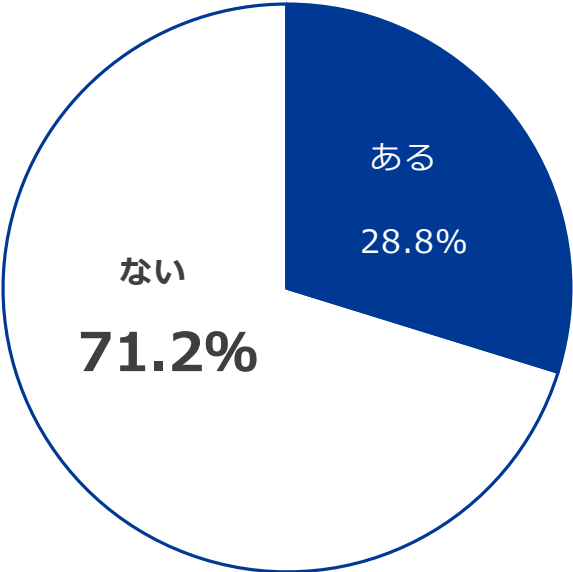


(出典 リユース経済新聞『中古市場データブック2025』)※2030年は予測値

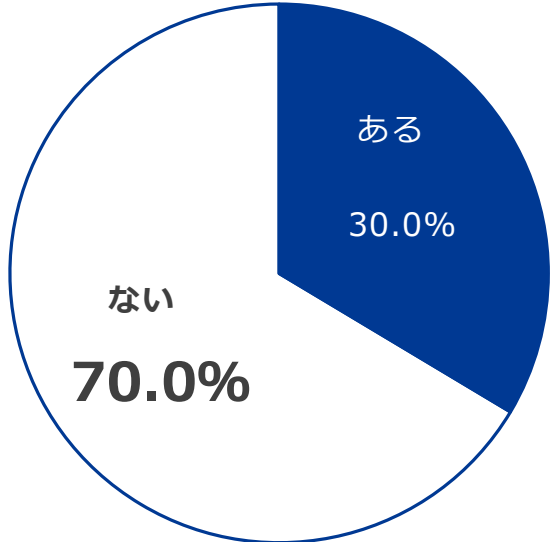
リユースの利用率

リユース利用経験者は約 3 割 市場の伸びしろ大

過去 1 年のリユース品
購入経験



過去 1 年の不用品
売却・引き渡し経験



(出典 環境省 令和 6 年度リユース市場規模調査報告書)

中期経営計画

4つの戦略で中期経営計画の達成を目指す

リアル店舗戦略

～魅力ある強いリアル店舗～

- 基礎・基本ができている上で、個性のある店舗をつくる。
- 唯一無二の店舗作り。新しい価値観の創造。

出店戦略

～空白地域への積極出店～

- 2030年1300店舗体制を目指す。
- 10万商圈に1店舗の出店を確実に行う。
- 新業態や専門業態を出店し、厚みのあるドミナント出店を実現させる

ネット戦略

～リンクチャネルへの挑戦～

- リアル店舗を中心としたリンクチャネル構想を実現し、新しい小売業の形をつくる。
- ネットでも伝わる親切・ていねい・温かみ・笑顔。

海外戦略

～海外での挑戦と収益化～

- リユースのグローバルリーダーになる。
- 世界中でリユースを通じて循環型社会の構築に貢献する。

リアル店舗戦略 基礎・基本×魅力のある強いリアル店舗

お客様をワクワクさせる**唯一無二の個性ある店舗づくり**

圧倒的基礎・基本を大切にした店舗づくり

きれいなお店

いついっても環境整備ができていてピカピカのお店にします

笑顔

いついっても元気に笑顔で気持ちの良いあいさつをするお店にします

豊富な品揃え

いついっても一つでも多い品ぞろえの質・量ともに良いお店にします

個性を大切にした店舗づくり



品揃えや陳列などを工夫し、店舗の魅力を演出
複数店舗をハシゴするユーザーの増加

ハードオフ公式アプリ内
「ハドフめぐり」機能
チェックイン人数 昨対比**119%**
(2025年度)

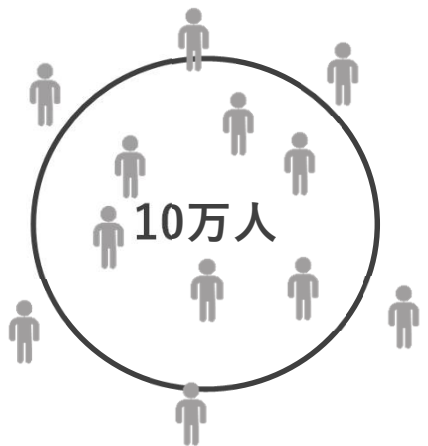


出店戦略 空白地域への積極出店

地方都市の空白エリアも強化 新潟モデルを全国へ

基本の出店基準

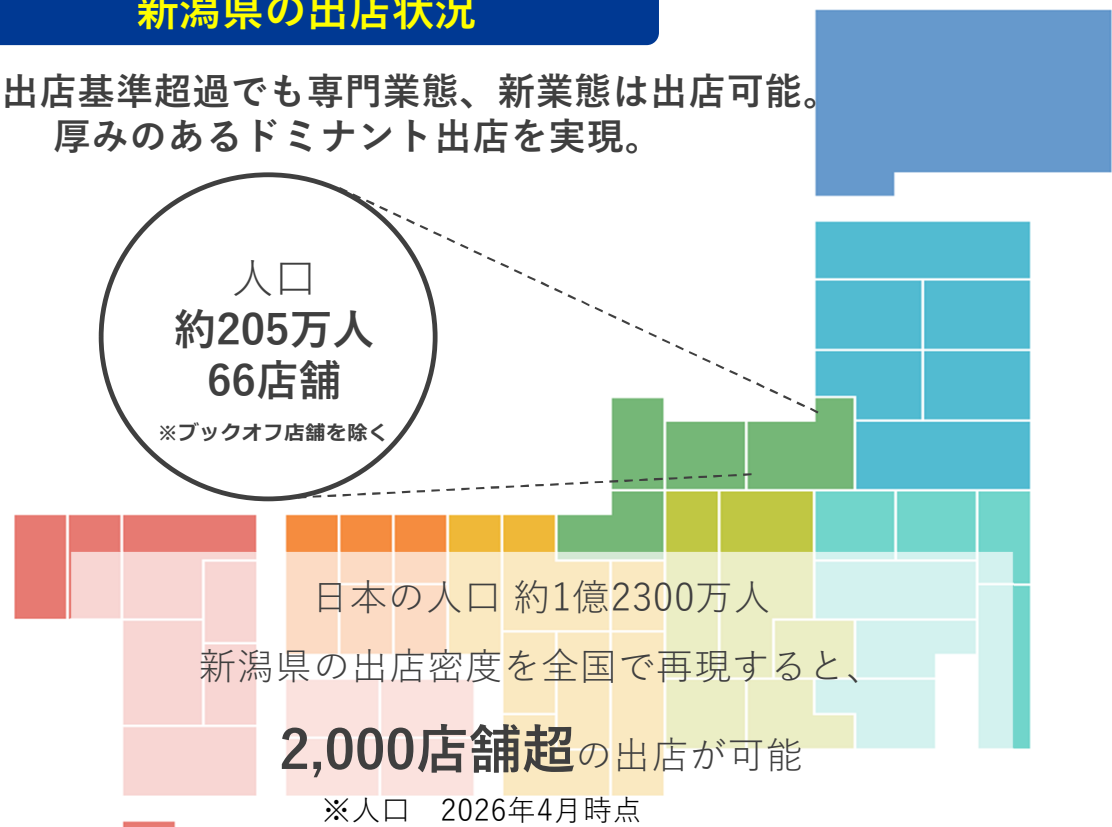
人口10万人に対し 1店舗



10万商圈への出店を着実に実施し、さらなる空白地域へ

新潟県の出店状況

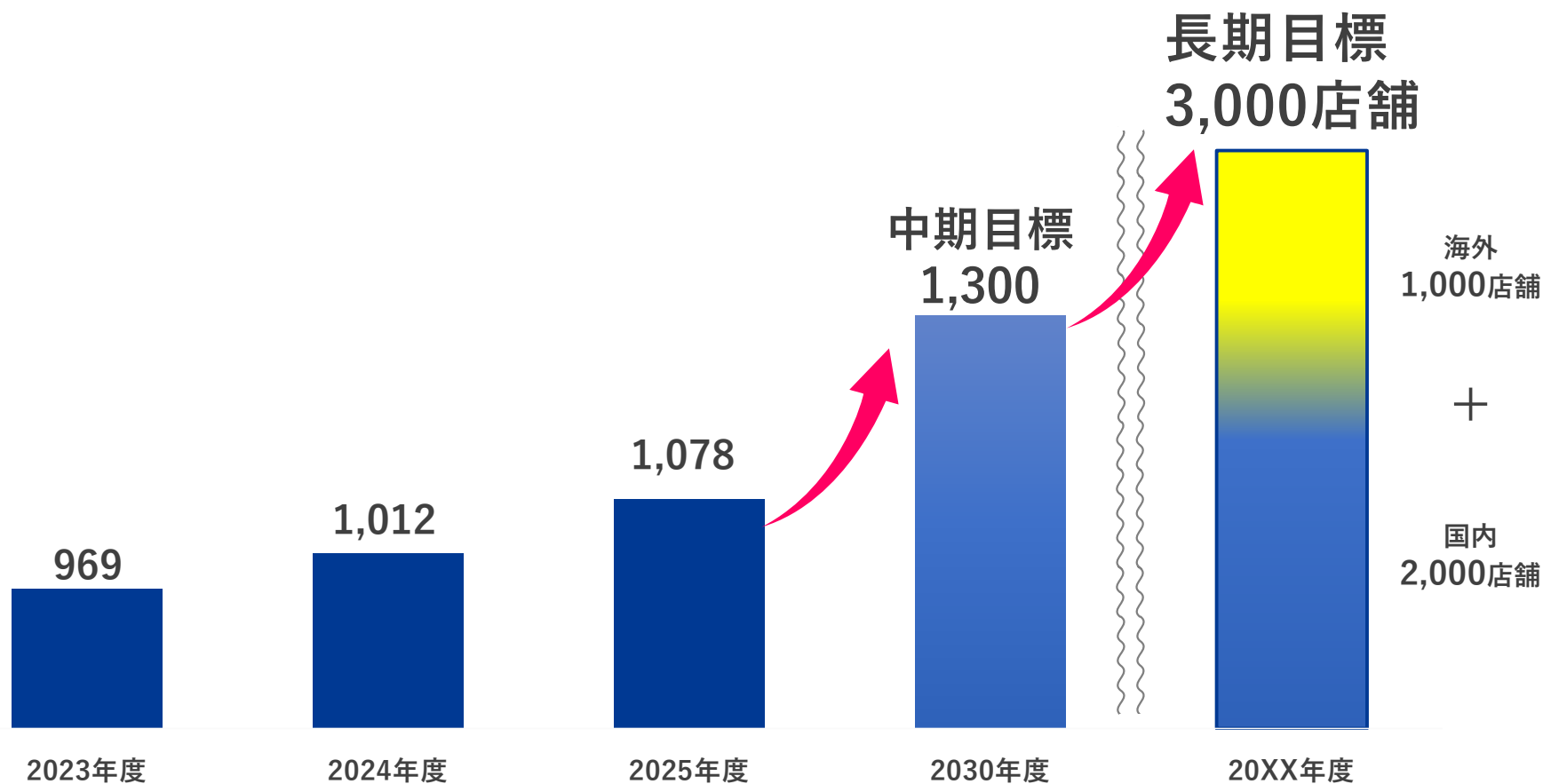
基本の出店基準超過でも専門業態、新業態は出店可能。厚みのあるドミナント出店を実現。



■ M&Aによる店舗拡大も検討・実施

出店戦略 グループ店舗数 中・長期目標

中期目標2030年度 **1,300店舗**、長期目標**3,000店舗**突破を目指す



出店戦略 トピックス

国内有数の繁華街 東京・新宿エリアへの初出店



店舗名

HARDOFF新宿マルイメン
(ハードオフしんじゅくマルイメン)

グランドオープン日

2026年4月27日(月)



- 国内トップの繁華街・新宿へ初進出
乗降客数世界一、国内最大の市場規模である新宿エリアへの出店。
- 世界に向けたグローバル戦略拠店
国内外から集客が期待できる新宿を拠店に、国内ユーザーだけでなく、インバウンド需要取り込みを目指す。

デジタル戦略 “Re”NK CHANNEL（リンクチャンネル）

リアルとデジタルすべてのチャンネルを連携し、スムーズで快適な購買体験を提供。
ネットでも親切・ていねい・温かみ・笑顔を大切にし、新しい小売業の形をつくる。

ネット販売 オフモール



宅配買取



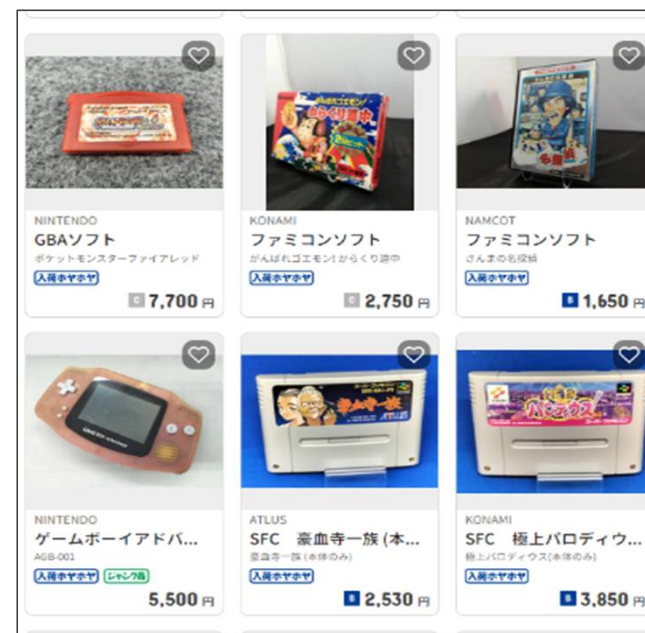
ハードオフ公式アプリ



オファー買取



全国のグループ店舗の商品を購入できる独自のECサイト



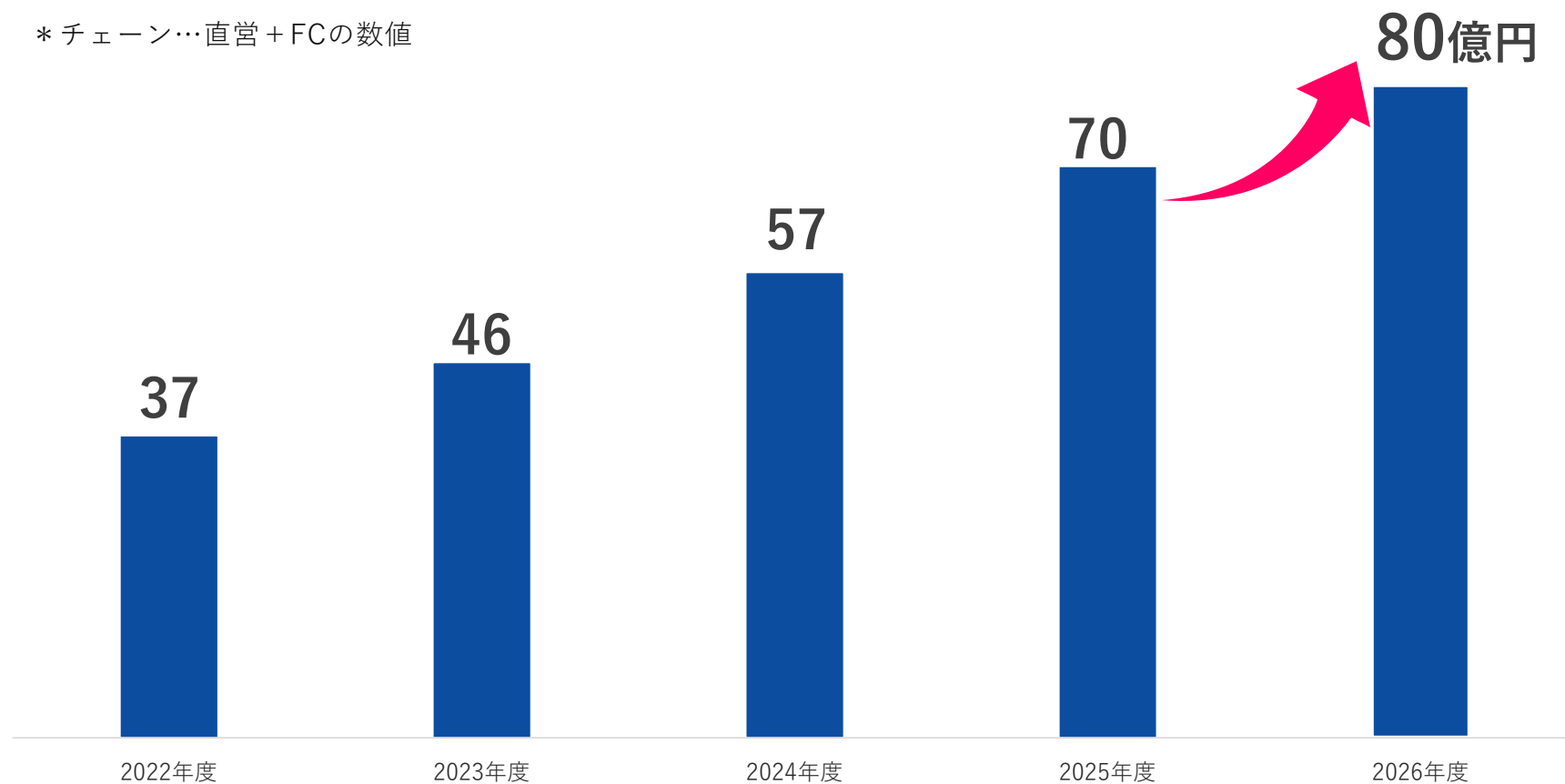
- 定期的に特集を組み人気ジャンルの商品をアピール
- ジャンク品から高額ブランド品まで幅広い品ぞろえ
- 商品は随時更新、リアル店舗に来店するような温かみのあるお買い物体験を目指す

デジタル戦略 EC（オフモール） 年間チェーン売上目標



2026年度 年間チェーン売上 **80億円** を目指す

* チェーン…直営+FCの数値





デジタル戦略 オファー買取アプリ

不要品を出品すると店舗から買取のオファーが届く



ストア高評価を維持

App Store

4.5



Google Play

4.3



オファー買取の流れ

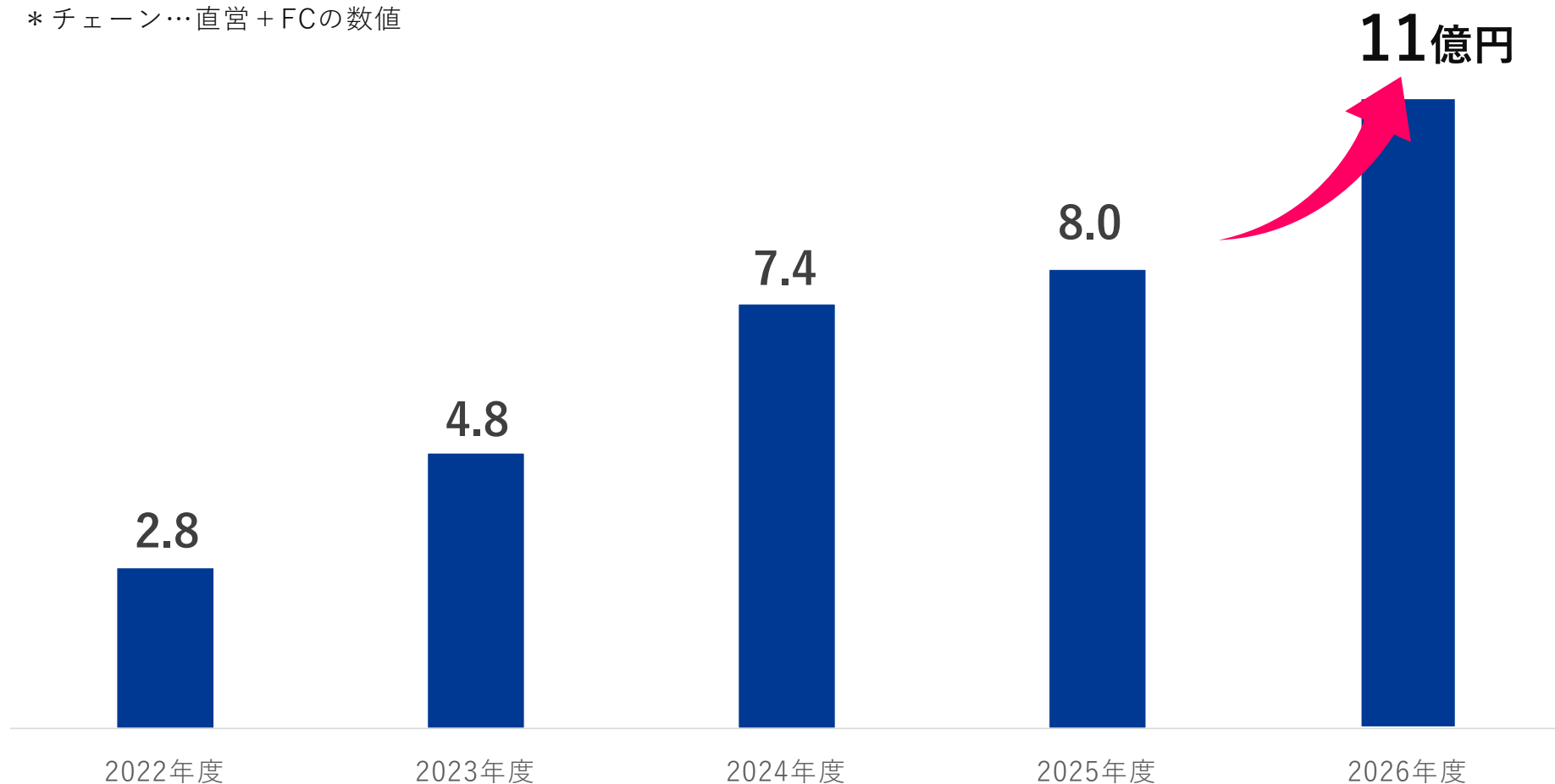
- ①不要品の写真を撮影し、ブランドやコンディションを入力
- ②全国のハードオフグループ店舗から買い取り金額のオファーが届く
- ③受けたいオファーを選び、宅配買取の依頼をする

デジタル戦略 オファー買取 年間チェーン成約金額目標



2026年度 オフヤー年間成約金額 **11億円** を目指す

* チェーン…直営+FCの数値



デジタル戦略 ハードオフ公式アプリ



会員証・店舗検索・EC等コアユーザー向け機能を実装



ストア高評価を維持

App Store

4.6



Google Play

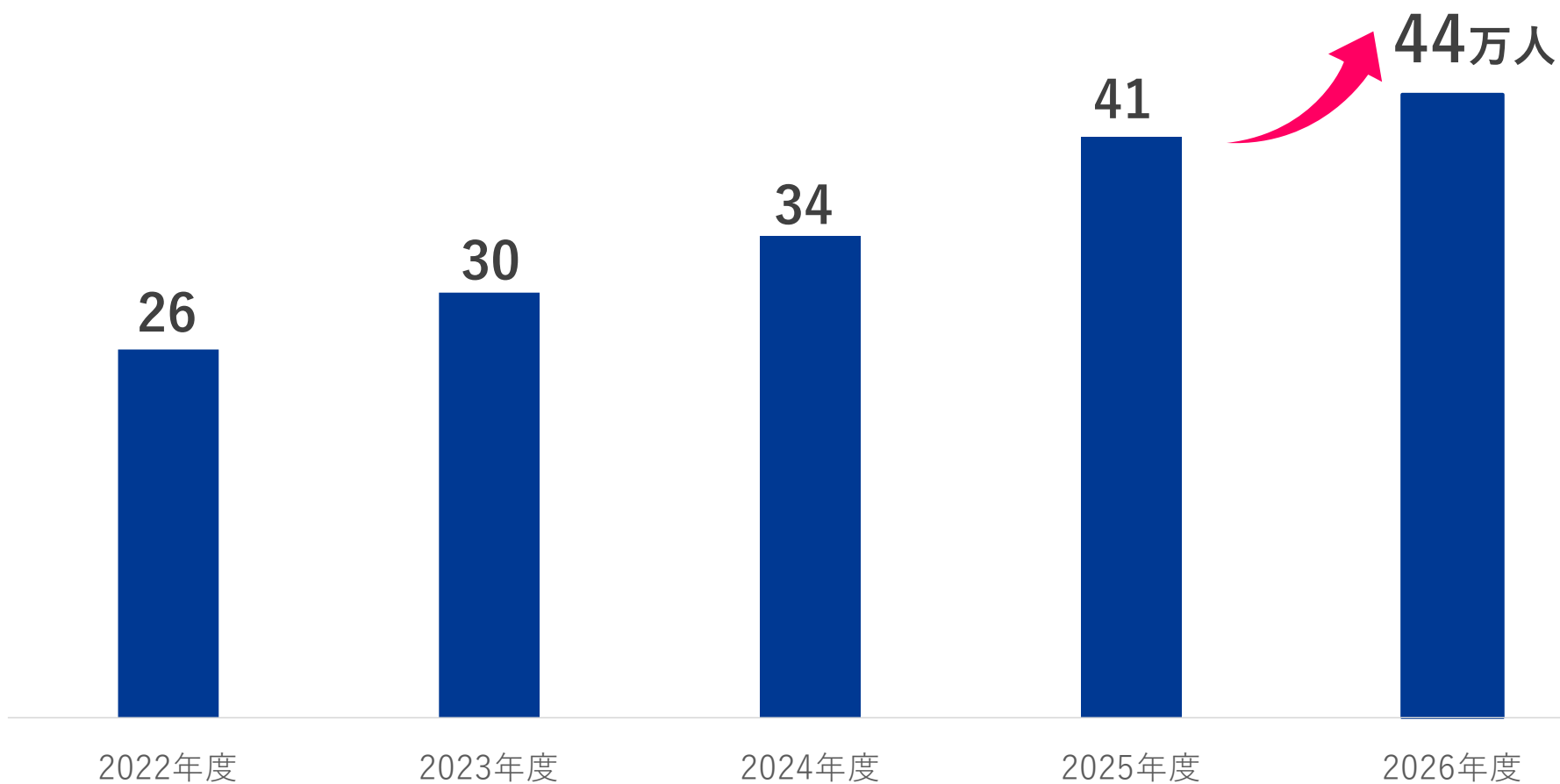
4.5



デジタル戦略 公式アプリ月間利用者数（MAU）目標



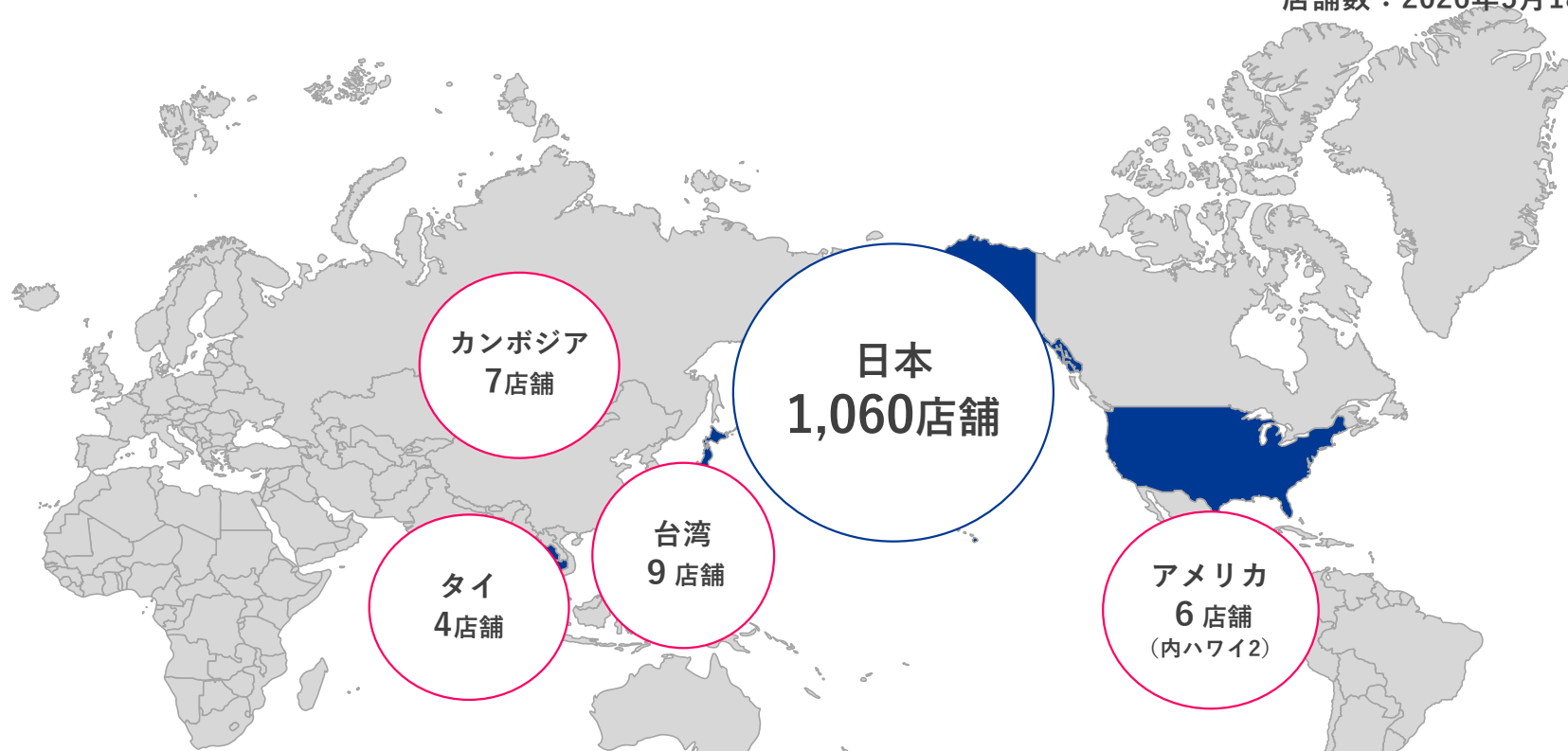
2026年度 月間利用者数 **44万人**を目指す



海外戦略 海外への出店

海外でグループ店舗 **26店舗** を出店

店舗数：2026年5月18日時点



グローバル事業部新設により、海外への出店が更に加速。
中長期目標として海外1,000店舗を目指し、
世界中でリユースを通じて循環型社会の構築に貢献する。

台湾 ホビーオフ台北駅K区地下街店をオープン



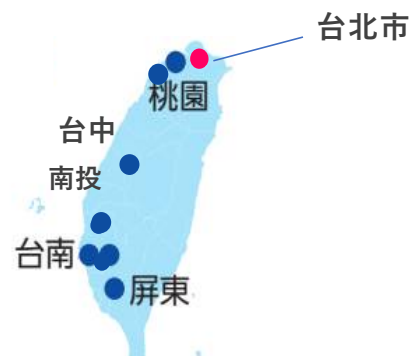
店舗名

HOBBYOFF台北駅K区地下街店
(ホビーオフたいぺいえきKくちかがいてん)

グランドオープン日

2026年3月5日(木)

- ホビーオフ初の海外出店
- 今後も直営・FC含め台湾全土で150店舗を目指します



タイへの現地法人を設立

現地法人の概要

- (1) 商号 : HARD OFF (THAILAND) Co., Ltd.
- (2) 代表者 : 渡邊 太志
- (3) 設立年月日 : 2026年5月設立
- (4) 所在地 : タイ バンコク
- (5) 事業内容 : リユースショップの運営
- (6) 資本金 : 2百万タイバーツ (約9,400千円)
- (7) 出資比率 : 当社49%、タイ国内の法人51%

タイでは現在FC店舗4店舗を出店。

新設法人は現地での買い取り、販売を行うリユースビジネスを展開。

(現状は現地買い取りはせず、日本から輸入した商品の販売のみを実施。)

中期経営計画（3か年計画）の前提

直営 + FC合計で年間 **約50店舗** の純増を計画

運営形態	項目	2027/3期	2028/3期	2029/3期
直営店	既存店売上高前期比	+4%	+3%	+3%
	店舗数純増	+36	+30	+30
FC店	店舗数純増	+21	+20	+20
合計	店舗数純増	+57	+50	+50
	期末店舗数	1,135	1,185	1,235

中期経営計画（3か年計画）

経常利益率は**10%**、R O E は**13%超**を目指す

(百万円)	2026/3期（昨年度） 実績	2027/3期（今年度） 計画	2028/3期 計画	2029/3期 計画
売上高	39,276 (+17.1%)	45,700 (+16.4%)	49,800 (+9.0%)	53,800 (+8.0%)
経常利益	3,489 (+2.5%)	4,100 (+17.5%)	4,700 (+14.6%)	5,400 (+14.9%)
経常利益率	8.9% (▲1.2%p)	9.0% (+0.1%p)	9.4% (+0.4%p)	10.0% (+0.6%p)
当期純利益	2,519 (+8.9%)	3,300 (+31.0%)	2,900 (▲12.1%)	3,400 (+17.2%)
R O E	13.1% (▲0.1%p)	15.5% (+2.4%p)	12.5% (▲3.0%p)	13.6% (+1.1%p)

※2028/3期当期純利益減益は、2027/3期1,160百万円の特別利益計上の反動によるものです。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状認識

- 当社の株主資本コストは概ね6～7%程度と認識（CAPMベース）
- ROEは、24/3期13.0%、25/3期13.2%、26/3期13.1%と資本コストを上回り推移
- PBRは、26/3期末1.3倍。

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
ROE	7.8%	11.4%	13.0%	13.2%	13.1%
PBR（倍）	0.8	1.2	1.4	1.4	1.3

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

今後の取り組み

○収益性の強化

高収益のリユース事業に特化し、中期計画における4つの戦略の着実な実行により事業拡大を図る。
収益性と効率性を高め、経常利益率・当期純利益率向上。

○株主還元

DOE（連結純資産配当率）6%程度を目安に
業績に裏付けされた安定的かつ持続的な配当を実施。

○IR活動の更なる充実

機関投資家との積極的な対話。
英文開示の充実。

資本コストに見合うROEの維持・向上を目指す（29/3期 目標13%超）

参考：売上高・経常利益・店舗数推移（連結）

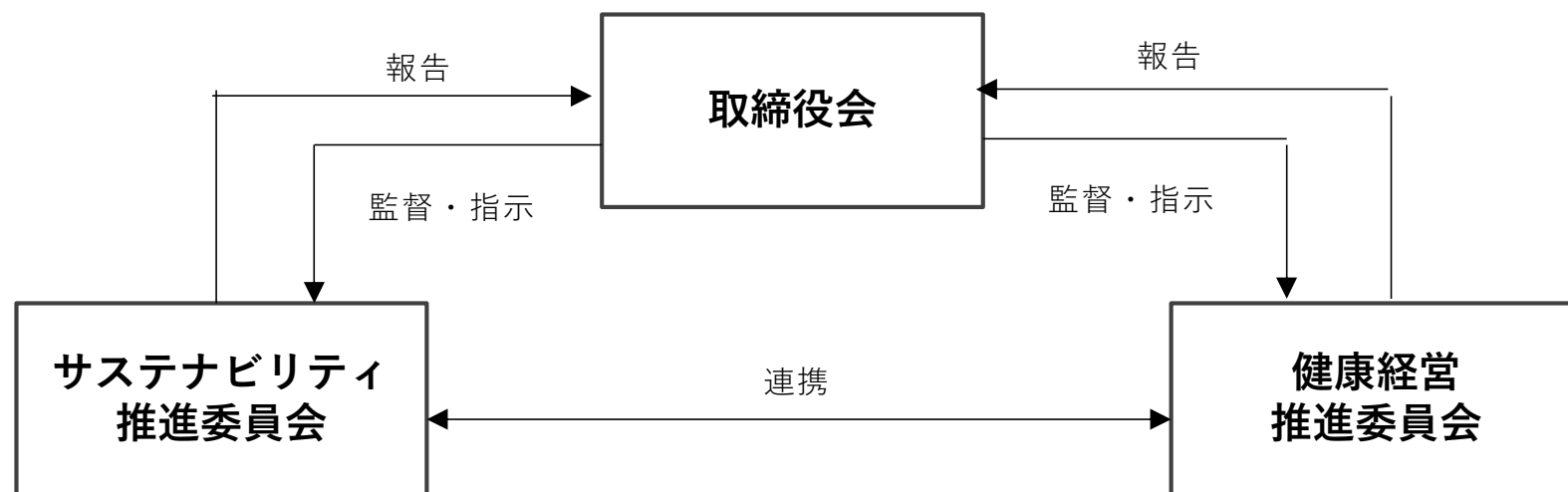
	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
売上高（百万円）	24,507	27,040	30,105	33,531	39,276
経常利益（百万円）	1,668	2,510	2,990	3,403	3,489
経常利益率	6.8%	9.3%	9.9%	10.1%	8.9%
店舗数	914	931	969	1,012	1,078
直営店舗数	396	408	430	450	545
F C 店舗数	518	523	539	562	533

- 1 2026年3月期 決算概要
- 2 2027年3月期 通期の見通し
- 3 中期経営計画
- 4 サステナビリティへの取り組み

サステナビリティへの取り組み 基本方針

当社グループは、リユースビジネスを通じて、廃棄物や温室効果ガス排出量の削減など、社会・環境課題の解決にグループ一丸となって取り組み、エコロジーとエコノミーが共生する社会の実現に貢献してまいります。

また、その担い手である社員・スタッフが笑顔で元気に活躍し、50年安心して働くことのできる会社を目指し、健康経営をはじめとした人的資本の強化に取り組んでまいります。



サステナビリティへの取り組み リユース事業

本業であるリユースを通じてSDGsの達成に貢献します



リユース事業

リユースショップを日本全国・海外で展開。
物の再利用＝リユースを促進することで
廃棄物を減らし、環境保護に貢献。

ハードオフグループでの買い取りにより
新品を製造した場合に比べ

69,850 t のCO₂削減に貢献

リユース事業による年間CO₂排出削減量（2025年度）※

品目	CO ₂ 排出削減量 (t)
家電6品目	27,054
家具	21,847
衣料品	12,836
ゴルフクラブ	150
タイヤ	200
ホイール	2
CD・DVD	409
書籍	7,353
合計	69,850

※ハードオフグループ店舗での主要13品目
2025年度買い取り点数を元に当社にてチェーン数値を試算
参考

- ・環境省「平成22年度使用済製品等のリユース促進事業研究会報告書」
- ・「3R原単位の算出方法」
- ・「光ディスクの計算方法について」
- ・排出量単位データベース Ver3.2」
- ・「タイヤのLCCO2算定ガイドラインVer3.0.1
- ・日本自動車タイヤ協会及び排出原単位データベース」

サステナビリティへの取り組み 気候変動への対応

気候変動に関する取り組み

当社グループではリユースビジネスを通じて「リユース＝モノ」の再利用を促すことで、温室効果ガス排出量の削減に貢献してまいりました。

脱炭素社会への移行に向けて、リユースのリーディングカンパニーとして更なる貢献を果たしていくため、温室効果ガスの排出量を**2013年度と比べて、2030年度までに70%削減（売上高1億円当たり）し、2050年度までにカーボンニュートラル**を目指してまいります。

■CO₂排出量実績

	2013年度実績 (t-CO ₂ e)	2024年度実績 (t-CO ₂ e)	2013年度比
Scope1	680	587	▲13.7%
Scope2	8,349	6,906	▲17.3%
合計	9,029	7,493	▲17.0%
売上高1億円当たり	70.1	32.0	▲54.4%

サステナビリティへの取り組み 人的資本への投資

人的資本への投資に関する取り組み

①人財育成方針

人財育成については、「ハードオフ理論30ヶ条」において

「企業は人財が全て～人財育成は、あらゆる業務より優先させよう～」を掲げており、最重要な経営課題と位置付け。また、持続的成長に向け多様性の確保は不可欠との考えから、性別、国籍、年齢、新卒・中途採用の別に関わらず、能力・適性に応じた採用、管理職登用を行う。

②社内環境整備方針

以下の3点を目指すべき会社像として掲げ、社員のエンゲージメント向上に向けた各種制度の整備などに取り組む。

- 1 家族を大切にできる会社
- 2 50年安心して働くことができる会社
- 3 幸せを感じられる会社

サステナビリティへの取り組み 人的資本への投資

社員の働きやすさを考えた制度を拡充・新設

転勤制度 見直し

満30歳を迎えた翌年度から転勤エリアを限定
→社員がライフプランを立てやすくなると共に地域に根差した店舗運営を実現

マイホーム 祝金新設

自己、もしくは配偶者との共同名義で初めて住居を取得する勤続5年以上、かつ60歳までの正社員に**100万円を支給**
→安心して生活を送るための拠点となる家を持つことで、心身ともに健康で仕事に良い影響をもたらせるように

2025年度までの祝金取得者 **14名**

年間休日数 の増加

2025年4月より年間休日数を**10日間増加**（105日⇒115日）
→適切な休養を取ることで心身のバランスを整え、元気に働けるように配慮する

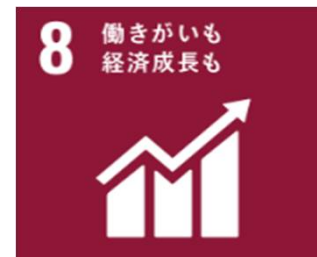
育休復帰 祝金

2024年4月1日より、1か月以上の育児休暇を取った社員に、休業前の手取額と国の給付金との差額を復帰後に支給
→育児休業を**100%取得し**、かつ取得後も全員に復帰してもらうねらい

サステナビリティへの取り組み 人的資本への投資（健康経営）

健康経営優良法人2026に認定

経済産業省から4年連続で健康経営優良法人2026（大規模法人部門）に認定。
引き続きホワイト500を目指し取り組む。



今期重点取り組み

- ・メンタルヘルスに関する取り組みを通して社員・スタッフの心の健康を支える
- ・喫煙率低下に向けた取り組みを実施する
- ・女性の健康保持、増進に向けた取り組みを通して働きやすい環境を整える

サステナビリティへの取り組み その他

本業以外でのSDGsに関連する取り組み



HARDOFF ECO スタジアム新潟
2009年より新潟県立野球場のネーミングライツを取得。
日本一環境に優しい球場を目指し、地域社会に貢献。



リユースカップ
Jリーグアルビレックス新潟のエコロジースポンサーとしてデポジット式リユースカップの運営をサポート。



アーチェリー大会
年に1回、「HARDOFF ECO スタジアム新潟」の無料使用権を活用し、障害者スポーツ大会を兼ねたアーチェリー大会を開催。

株式会社ハードオフコーポレーション

<https://www.hardoff.co.jp/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

IRに関する問い合わせ先

株式会社ハードオフコーポレーション

専務取締役社長室長兼経営管理本部長 長橋 健

E-mail : ir-info@hardoff.co.jp